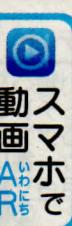


先人の労苦しおのぶ

大原小
6年生

たたら製鉄に挑戦

一関市大東町の大原小
学校(芦宏校長、児童1



スマホで
AR

55人の6年生は16
日、地区内の「砂鉄川た
たら製鉄学習館」でかつ
て地元で盛んだった鉄作
りに挑戦した。製鉄の実
践や調査などに取り組む

住民団体「ホッパの会」
(小野寺秀逸会長)の指
導で、自ら採取した砂鉄
を使い本格的なたら製
鉄を体験。地域の資源や
歴史に理解を深めた。

たたら製鉄は
火入れした炉に
風を送り、砂鉄
と炭を交互に加
えて行う。化学
反応で砂鉄中の
酸素などが取り
除かれ、純度が
高まるという。
同日は26人が、
7月に砂鉄川か
ら採取した砂鉄
を原料に取り組
んだ。

たたら製鉄は
火入れした炉に
風を送り、砂鉄
と炭を交互に加
えて行う。化学
反応で砂鉄中の
酸素などが取り
除かれ、純度が
高まるという。
同日は26人が、
7月に砂鉄川か
ら採取した砂鉄
を原料に取り組
んだ。



総合学習で地元に
伝わるたたら製鉄
を体験する大原小
の児童

たたら製鉄は
火入れした炉に
風を送り、砂鉄
と炭を交互に加
えて行う。化学
反応で砂鉄中の
酸素などが取り
除かれ、純度が
高まるという。
同日は26人が、
7月に砂鉄川か
ら採取した砂鉄
を原料に取り組
んだ。

たたら製鉄は
火入れした炉に
風を送り、砂鉄
と炭を交互に加
えて行う。化学
反応で砂鉄中の
酸素などが取り
除かれ、純度が
高まるという。
同日は26人が、
7月に砂鉄川か
ら採取した砂鉄
を原料に取り組
んだ。

児童は砂鉄を量り、火
を噴く炉の上部から一定
の時間ごとに投入。燃料
の木炭をくへやすい大き
さに割る作業を続けなが
ら仕上がりを待った。ギ
ラギラ輝く溶けた鉄が取
り出されると、歓声を上
げていた。

参加した熊谷卓也君は
「10分ごとに炭や砂鉄を
入れる作業は大変だった
が、不純物を出さないと
良い鉄にならないことが
よく分かった。毎日のよ
うにこの作業をやってい
た昔の人はすごい」と話
していた。

参加した熊谷卓也君は
「10分ごとに炭や砂鉄を
入れる作業は大変だった
が、不純物を出さないと
良い鉄にならないことが
よく分かった。毎日のよ
うにこの作業をやってい
た昔の人はすごい」と話
していた。

たたら文化を
この手で体験 一関

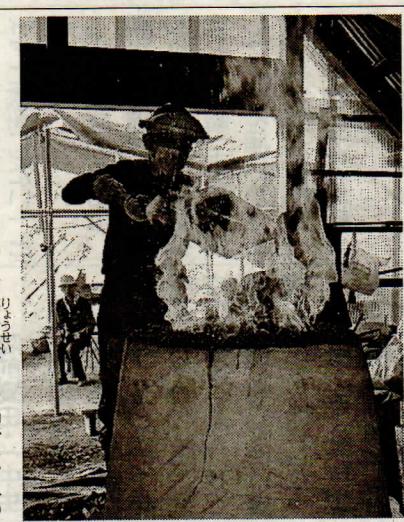
大原小児童、鉄作り

一関市大東町の大原

小(芦宏校長、児童1
55人)の6年生26人

は16日、同市大東町内
野地区の砂鉄川たたら
製鉄学習館で昔ながら
の鉄作りを体験した。

良質の砂鉄産地だつ
た地域の鉄文化を継承



炎が上がる炉に砂鉄と木炭を
交互に入れる大原小の児童

れた二つの炉に入れ
た。内部は約1300度にもなる高温の炉を
度近くに、児童は顔を赤
くしながら作業。約6
時間後に炉が取り壊さ
れ、鐵の塊を取り出し
た。刀匠による鍛冶の
実演なども行われた。

坂涼聖君は「昔は人の
手で鉄を作っていたの
がすごい」と驚きの表
情を見せていた。

する目的で、旧内野小
から続き16回目の開
催。たたら製鉄を再現
する地元のホッパの会
(小野寺秀逸会長)が
指導し、一般参観者を
含め約70人が参加し
た。

砂鉄は7月に砂鉄川
から採取した約55キ
ロと交換に、粘土で作ら
れた。刀匠による鍛冶の
実演なども行われた。

小山拓斗君は「とても
根気がいる仕事をだと
分かった」と苦労を実
感。岩瀬龍太郎君、保